

【会社概要】

- 所在地：佐伯市
- 代表者：代表取締役 西嶋 真由企
- 従業員数：54名
- 創業：昭和23年
- 売上高：6.3億円
- 事業内容：金属製品製造

【成長戦略】

- テーマ 宇宙県おおいたの一翼を担う
先端ものづくり企業を目指す
- 定量目標：5年後に売上高10.7億円(+4.4億円)、
従業員数74名(+20名)、付加価値額5.8億円(+2.4億円)
- 成長の方向性
収益拡大可能性の高い市場からの受注を同時並行で進める。
 - ①市場伸長の著しい半導体産業、人工衛星部品製造等の
ノウハウを活用した宇宙産業
 - ②ニーズが高まる小物から大物までの一括受注

【自社の競争優位性、強み】

- 国際規格「JISQ9100」取得
航空宇宙・防衛産業における部品調達の
グローバルスタンダードへの適合。県
内中小企業での保有は数社のみ。
- 長年培った技術・ノウハウ
熟練工による小物から大物までの多種
多様な加工、材料手配から加工、据付
までの一貫受注、メンテナンスも可能
- 戦略的な設備投資
多様な業種の顧客ニーズに応えられるよ
う、機械設備を順次アップデート



組立工場



製缶・溶接



小型複雑形状品機械加工



大型製品機械加工



新工場完成予定図

【会社概要】

- 所在地：日出町
- 代表者：代表取締役 馬場 潤一
- 従業員数：26名
- 創業：平成16年
- 売上高：3.3億円
- 事業内容：機能性液晶フィルム製造

【成長戦略】

- テーマ 世界トップの機能性液晶フィルムの世界最大のサプライヤーを目指して
- 定量目標：5年後に売上高27.0億円(+23.7億円)、従業員数87名(+61名)、付加価値額9.8億円(+11.8億円)
- 成長の方向性
 - ①盤石な販路を基礎に、国内市場での堅実な成長
 - ②海外市場への挑戦に向けた生産・供給能力の確立
 - ③トヨタ・自動車以外への新規販路開拓

【自社の競争優位性、強み】

○完全自社開発と知財管理

研究開発型企業として、自社製品を完全内製化し、公開しても影響のない範囲で特許取得し、製造ノウハウを保護。

○世界初「リバーstype液晶フィルム」

他メーカーの仕様は「通電時は透明、非通電時は白濁」だが、逆の仕様の製品を世界で初めて開発。通電コスト削減や製品寿命延長、電力供給停止時の安全性などで優位性が高い。

2020年6月 トヨタ自動車新型ハリアー
調光パノラマroofとして量産初採用



(トヨタ自動車)

(九州ナノテック光学)

世界初！
リバーstype液晶フィルム